

令和7年度 宮崎県立高千穂高等学校

学校関係者評価表

<スクールミッション:目指す学校像(本校の使命 本校に要請されているもの 存在意義)>

- (1) 高い目標や理想に向かって自らを鍛錬し、日々の学校生活の中で個性を伸ばしながら、社会における新たな価値を創造し、大道を歩む生徒の育成を目指す学校
- (2) 連携し高め合う教職員による授業を中心に、質の高い多様な教育活動を行うことで、生徒の学力や専門性を向上させ、生徒個々の進路目標の実現を目指す学校
- (3) 協調と奉仕の精神で、家庭や地域社会との連携・協働・共育を推進していくことにより、地域から信頼され、持続的な地方創生の核となることを目指す学校

<グラデュエーション・ポリシー:目指す生徒像>

自ら学び行動できる生徒

学習習慣を確立することで、生涯にわたって学ぶために必要な基礎学力の定着した生徒を育てる。

他者と協働できる生徒

豊かな感性、適切な表現力・コミュニケーション能力を身に付け、仲間と協力して目標を達成しようとする生徒を育てる。

地域社会に貢献できる生徒

地域社会をより良くしようとする当事者意識と行動力を備えた生徒を育てる。

多様な価値観を尊重できる生徒

価値観が多様化する時代に必要な、広い視野と寛容な心を持つ生徒を育てる。

令和7年度 学校関係者評価表

宮崎県立高千穂高等学校

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果 (○)・課題 (●)・改善策 (☆)	自己 評価	評 価	学校関係者評価 コメント
I 生徒の主体性と自律性の向上			B	A2 B5	□校長先生をはじめ全ての先生方の熱心な生徒指導、学力向上への取り組みに対し、心から敬意を表し感謝を申し上げます。
I 生徒の主体性と自律性の向上	礼法指導の徹底 (1学年) (生徒指導) 初期指導の充実・高校生としての自覚の醸成 (1学年)	・定期的な面談や礼法指導を通して規則正しい生活習慣の確立を図る。 (目標) 規則正しい生活習慣の確立とともに、高千穂高校生として自分で考え行動できる力の育成。(1学年) ・礼法指導の目的と意義を生徒及び全職員が共通理解し、常時指導を徹底する。(生徒指導)	生指 B 1学年 B	B6 C1	□生徒のあいさつや生活態度等は素晴らしと感じております。また、明るさなどから元気をいただいています。 □礼法指導の徹底や海外留学への挑戦(2名決定)など、具体的な行動変容が見られる点を高く評価します。 一方で、SNSトラブルや問題行動の発生、また3年生においても受験準備を自律的に進められない生徒に対し担任の強い介入が必要であった点は今後の課題です。 今後は、教員による「指導」から、生徒が自ら考え律する「支援」への移行をさらに強める必要があると思います。
	中堅学年としての自覚の醸成 進路実現に向けた指導先を見据えた指導 (2学年)	・礼法指導を充実する。 ・2学年への帰属意識を高め、集団でも迅速な行動ができるよう指導する。 ・進路について具体的に考え、準備を始めさせる。 (目標) 将来を見据えた進路意識の高い生徒の育成。海外留学生を	○海外留学に向けて多くの生徒がチャレンジした。結果2名が留学に行くことが決まった。 ○修学旅行では、集合に遅れるような生徒はなく、集団を意識して行動することができた。	2学年 A	A7

I 生徒 の 主 体 性 と 自 律 性 の 向 上		1～2名。				<input type="checkbox"/> 礼法が身についた生徒さんはお話していて本当に気持ちのよいものです。多くの生徒は高校生らしく地域の人と礼節をもって接してくれていると感じています。
	・進路実現に向けた指導 ・主体的な生活習慣の確立 (3学年)	(取組)生徒の将来を見据えた適切な進路情報を提供し、面談を通してよりよい進路選択の支援を行う。 (目標)日程や時間の管理の徹底。 〈各クラス目標〉 1組：卒業に向けて基本的な生活習慣の確立。評定平均4.5以上。 2組：全商検定1人最低1種目1級合格。3種目1級取得3名以上。社会性を育む。 3組：クラス評定平均4.6以上、凡事徹底。 4組：全国偏差値60以上5名以上、国公立大学・難関私立大学合格者10名以上。	○各クラスで受験先が決定するまで二・三者面談を何度も実施したことで、生徒の希望に添った進路先を決めることができた。 ○就職・進学ともに受験した生徒のほとんどが内定・合格を頂くことができた。 ●就職・進学両方において、数名の不合格者が出た。担任との面談を通して気持ちを切り替え、次の受験で合格した生徒もいるが、これから受験に再挑戦する生徒もいるので全員の進路先が決定するまで生徒のモチベーションが維持できるよう指導していきたい。 ●受験に向けての準備等、自身で計画的に進めることができない生徒が多く、担任の声かけが不可欠であった。1年次からの指導の重要性を感じた。 △各クラスの平均評定は未決定 ●2組の検定合格者1級は2名のみ △国公立10名以上合格に向け指導中	3学年	A1 B6	<input type="checkbox"/> 海外留学へチャレンジする生徒が多いことに頼もしさを感じます。内向的な若者が増えているのでは？と言われる中で、外国に関心が芽生えることは、自分が生まれ育った国・地域のことも学ぶきっかけになるように思います。今後、さらにチャレンジしようと思う生徒が増えることに期待します。 <input type="checkbox"/> 進路指導もとても丁寧にされていると受けとめております。 <input type="checkbox"/> 1年次から卒業後をイメージし目標をもって計画的に生活することは、3年度ゴールの立ち位置がきっと違うと思います。早い段階から、目標を持つような導きをお願いします。 <input type="checkbox"/> 生徒は学年が上がるほど挨拶してくれる印象。また学習に関してもまじめな生徒が多い。進路実現に向けてしっかり考えようとする姿勢が見られる。
	計画的な特別活動の観点別評価の実施 (教務)	・特別活動の観点別評価を通して生徒の自己肯定感を育み主体性の向上を目指す。 ・宅習量調査とそのデータの	○特別活動ふりかえりシートの活動前配付により目的を意識させることができた。 ●テスト期間以外に宅集調査を実施。		B	B7

I 生徒の主体性と自律性の向上		有効的活用。	自宅学習の習慣化について課題を改めて実感した。 ☆来年度宅習量調査を無くし、学習委員会としての活動を見直す。			□既に学科改編を意識した取組に着手されていると存じます。高千穂高校ならではの魅力の詰まったカリキュラムになるのだろうとさらに期待しています。
	充実したカリキュラム編(令和9年度を含む) (教務)	・新学習指導要領に対応したカリキュラムの完成年度における検証と改善。 ・学科改編に伴う新カリキュラム作成(調整)	○教科代表者会を通して、次年度のカリキュラムを検討し完成させる事ができた。 ●令和9年度カリキュラム(学科改編を含む)について、教科会および教科代表者会を通して、継続的に検討を進めた。 ☆学科改編に伴う、新課程のシラバス作成を進める必要がある。	B	A1 B6	□学科改編をチャンスと捉え魅力あるカリキュラムづくりに取り組むことを望みます。(教務)
	総合的な探究の時間の充実 (進路指導)	・生徒と全職員による総合的な探究の時間の実施。 ・探究2時間連続化(隔週)の試行。 (9月~12月) ・進路指導クラスルームを活用して情報発信を行う。	△探究隔週2時間化の試行について、生徒、先生にアンケートを実施。結果を次年度につなげていきたい。 ○1年生は仕事図鑑作成のためにインタビュー実施→△活動時期を再考する。 ○Handy 進路指導室やハイスクールオンラインに受験レポートを提出し、来年度閲覧できるようにしている。	B	A2 B5	□1年生の仕事図鑑のインタビュー訪問はとてもよい取組と思いましたが、広域で移動時間やそれに伴う費用など、苦慮されることも多かったのではと思います。よい知恵があれば…と思います。 □「お仕事図鑑」の研究にあたり、インタビュー前に事前研修をしている点に感心した。 □進路は学年が進級するたびに面談確認を行い、大枠から具体的に段階を踏むといいと思う。個々の歩調に合わせることも必要ではないか。
読書活動の推進、読書意欲の喚起 (図書渉外)	・「図書だより」発行 ・図書館整備 ・企画、イベント、キャンペーンの実施 ・読書量調査の定期的な実施	○移動図書館で各種イベント等を行い、好評であった。 ○図書館内のレイアウト変更を行った。また、「芥川賞」のコーナーを設けた。 ○図書委員を中心に、7月に1年生、12月に2年生作成の図書だよりを発	B	A1 B6	□「芥川賞・直木賞」「本屋大賞」「映画化された原作本」などのテーマのコーナー設置はいいと思います。さらに各種イベントの実施とそのPR方法も様々ご検討ください。 □読書活動は、幼児から小学生、中学生の	

			<p>行した。2月には全学年で増刊号を発行する予定。</p> <p>●読書量調査によると、読書量はかなり増えているが、図書室の貸出冊数には、なかなか結び付かない。今後、他校の事例も参考に、貸出数増を図りたい。</p>			<p>延長にあると考えます。図書館職員や図書担当の先生など関係者の意見交換などはいかがでしょうか。</p> <p>□インフルエンザ流行のパス移動、食事、就寝時などの明確なきっかけの分析などで、次年度の計画に生かす視点が重要。定期的な現状確認で、保護者と主治医との連携の在り方をどう仕組化するか。</p> <p>危険予知能力をタブレットで可視化する仕組みはどうか。</p>
健康安全教育の推進 (教育相談)	<p>・自他の健康に興味・関心をもたせ、自己管理能力や危機管理能力の育成を図る。</p> <p>・生徒の心身の健康を守り、安全で快適な学校環境づくりに努める。</p>	<p>○修学旅行明けのインフルエンザ流行のため1クラス学級閉鎖を行った。今後も感染対策の徹底を図りたい。</p> <p>○救急搬送する大きな怪我はおきていないが、タクシーで病院搬送、持病のある生徒の救急搬送があった。持病のある生徒の定期的な現状確認方法を検討したい。</p> <p>●保健委員で校内の危険箇所点検を行った。継続的に実施できるような取り組みにしていきたい。</p>	B	A2 B5		

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

	評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果 (○)・課題 (●)・改善策 (☆)	自己 評価	評 価	学校関係者評価 コメント
2	生徒の学習力・学力の向上			B	B7	<input type="checkbox"/> 県教委の教科総合訪問に向けた準備や、校務支援システムの運用によるペーパーレス化の推進など、組織的な授業改善・業務効率化の取り組みが成果を上げています。しかし、生徒の家庭学習時間や検定取得率が目標値（70%等）に届いていない学年があるのは注視すべき点です。進路決定後の学習意欲の維持や、1年次からの計画的な検定受検の動機付けなど、3年間を見通した切れ目のない学習支援体制の構築を求められると思います。
2	生徒の学習力・学力の向上	<p>1 生活習慣の確立を通して、学習習慣を身につけさせる。</p> <p>2 資格・検定の取り組みへの挑戦を促し、活動の記録も行わせる。</p> <p><1年生> (目標)</p> <p>自宅学習時間については、1・2組:1日1時間以上、3・4組:1日2時間以上。</p> <p>1・2組の検定等については、各種検定取得率 70%以上。</p> <p>3・4組の模試については、SS50以上15名以上。</p> <p><2年生> (目標)</p> <p>・1日の自宅学習時間 1・2組:1時間以上、3組:2時間以上、4組:3時間以上。</p> <p>・各種検定、対外模試 1・2組、上級検定取得率 70%以上。4組、模試 SS50以上15</p>	<p><1年生></p> <p>○1学期テスト結果の反省から、勉強時間を確保して取り組む姿が見られた。</p> <p>△34組の模試について、11月の結果は、SS50以上が10名、SS55以上が3名であった。</p> <p>●将来を意識して、勉強や部活動を頑張らせることができていないと感じた。今の頑張りが将来どう活かせるのか考えることができるように指導していく。</p> <p><2年生></p> <p>●自宅学習時間について、目標を達成している生徒は少ない。課題+αの学習に目を向かせたい。</p> <p>○英検2級に2名、準2級に4名合格した。商業系の検定は、目標の70%には届いていないものの、3種目で1級を取得できそうな生徒がいる。</p> <p>●4組の模試は、SS50以上が13</p>	B	B7	<p>2学年 B</p> <p>B7</p> <p><input type="checkbox"/> 様々な学習の取組をされていると受け止めています。当事者である生徒たちが、「たいへんだったけど、やってよかった」や「緊張したけど楽しかった」等思い、学習意欲がわき学力となっていくような指導をいっそうお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅学習はご家庭の協力も不可欠なことと思います。例えば、学習中は大人も共にノーマディアの働きかけも（難しいでしょうが）必要では。</p> <p><input type="checkbox"/> 私立高校も授業料無償化となり、さらに</p>

2 生徒の 学習力・ 学力の 向上		<p>名以上。 英検準 2 級以上取得 5 名以上。</p> <p>〈3 年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着を図り、進路実現に耐えうる学力を養成する。 ・積極的な資格、検定の取得を促し、生徒の意識を高める。 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己学習時間(授業外の学習時間) 1・2 組:2 時間以上、3 組:3 時間以上、4 組:4 時間以上 素点欠点者を 10 名以下に。 ・進路実現のためだけの学習ではなく、将来を見据えて主体的・継続的に自ら学ぶ姿勢の育成。 	<p>名。 SS40 層の 1 4 名を伸ばしたい。</p> <p>〈3 年生〉</p> <p>○自分自身の進路を真剣に考え、それぞれの目標に向かって学習を重ねることができた生徒が多かった。進路決定後も学習習慣を維持できている生徒もいるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放課後等に遊んだり騒いでいて、受験前の生徒のことを思いやれない生徒がいたことが残念だった。 ●検定取得に関しては、1 年次に取得しきれなかった分が 3 年次まで響いてしまい、検定に対する意欲を持たせることができなかった。 <p>○自己学習は時期的な差があるため、調査の在り方について教務部と連携して検討。</p>	B	B7	<p>県立高校の進学希望が少なくなると思われる。普通科があるので、有名大学の進学率を上げることで、私立高校と差別化できると思う。</p>
	指導と評価の一体化 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価について、指導と評価の一体化の実現に向けての実践 	<p>○本年度の県教委による教科総合訪問に向け、教科代表者会を通して計画的に準備を進めた。県教委に直接指導助言を頂き貴重な研修の機会となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内実施の互見授業において、コメント票的なものが必要であった。 <p>☆評価のありかたについて、各教科で議論する機会を作っていたきたい。</p>	A	A7	<p>□県教委の指導を受けられて、授業力の土台が出来たのではないのでしょうか。そこに、校内でのフィードバック体制（コメント票や意見交換会）に改善の余地があると思います。</p> <p>□公開授業はありがたいです。</p>
	授業力の向上 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業・公開授業・互見授業の充実 		B	B2 B5	

2 生徒の 学習力・ 学力の 向上	業務の効率化（教務）	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの確実な運用 ・情報機器の効率的運用 ・効果的な日程調整 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペーパーレス化が定着してきた。 ○各特編時間割は早期提示ができた。 ○1学期中の授業時間調整を実施できた。 ●2学期に生じた偏りを、3学期に調整していきたい。 	A	A7	<ul style="list-style-type: none"> □業務の効率化で先生方の業務量や精神的負担が一層軽減されることを望みます。
	人権教育の推進（生徒指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見に努め、保健教育相談部と連携し指導援助を行う。 ・いじめ、不登校0件を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS 関係について、利用等に係る更なる指導が必要。特定の場面における衝動的な行動や安易な考え方が重大な問題に発展することを継続的に指導していく必要がある。 ☆スマートフォンについて生徒向けの研修を実施。今後、人権教育と連動していじめ問題やSNS問題について取り扱っていく効果的な指導の在り方を検討。 	C	B2 C5	<ul style="list-style-type: none"> □人権教育は、いじめなどによる人格否定や命に係わる大事な教育と思います。小さなことでも丁寧に対応していただくことをお願いします 次年度はB,Aの自己評価であるよう願います。 □改善の在り方を検討、で止めず、「外部講師を招いた実践的な研修を計画中」など、具体的なアクションプランを付け加えると、実行力が伝わります。SNS 上のコミュニケーションワークショップを導入するなど、反省だけでなく、高千穂の強みを生かした解決策が見つかるといいですね。
	学校行事の活性化（生徒指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の企画段階から生徒会等の意見を取り入れ、生徒の主体的な活動を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オープンスクールや歩こう大会、文化祭で生徒会が企画を運営。 	A	A7	<ul style="list-style-type: none"> □いじめ対応は徹底していただきたい。また夜神楽で高校生が一晩中男女で過ごすシーンがあり、周りの大人が心配する状況があった。
	学力を補完する指導の充実（進路指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・校外模試、スタディサポート、進路マップの実施 ・各学科・教科との連携により、生徒の進路実現に必要な学力養成のための各種課外・講座・テストを企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一般受験合格を目指す3-4の生徒たちが熊大プレを5名受験、宮崎国際大学でのリスニング講座に3名参加するなど、前向きに頑張った。 ○1年教科担任によるコース選択会議を実施し、情報の共有を行った。 	B	A2 B5	<ul style="list-style-type: none"> □学校に親身に相談に応じてくれる体制があることは生徒も保護者も心強いと思います。これからも寄り添いをよろしく願います。
	読書の重要性の啓発 読書を通じての文字	<ul style="list-style-type: none"> 1 読書の必要性、重要性の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路関係及び農業関係の本は、図書館に置いていても誰も手に取らない。 		B7	

2 生徒の 学習力・ 学力の 向上	力、語彙力、文章読解力の向上 読書を通じて、さまざまな価値観に触れ、論理的思考力の向上を図る（図書渉外）	2 学級文庫の設置 3 移動図書館の充実 4 朝読書の黙読の実行	学級文庫での活用を実施している。 ● 読書の重要性は、朝読書や授業の中で取り上げてもらっているが、まだまだ生徒に理解してもらえていない。 ○ 朝読書中に読む本は、電子書籍も可能とした。最初は、ゲームや動画を見ている生徒が多かったが、現在では、そういう生徒をあまり見かけることがなくなった。	B		□生徒アンケート調査から迅速に問題把握、面談へとつなげたスピード感は素晴らしいですし、保護者や地域への安心材料となります。 SC/SW の認識向上については、ぜひ継続してください。生徒だけでなく、保護者にとっても、困ったときの相談窓口として、心理的ハードルが下がる工夫を期待します。運営協議会としても、地域社会と共有し、学校と地域が一体となった見守り体制の強化が出来る事を願います。
	教育相談の充実（教育相談）	・生徒一人ひとりの心身の健康状態の把握に努め抱えた悩みや問題の早期解決への支援を行う。 ・いじめ等が未然に防げるよう、担任・学年会等関係職員・生徒指導部・保護者との連携強化を図り、柔軟かつ速やかに組織的に対応する。 ・長期相談室(保健室)利用者、長期欠席者への支援。 ・教育相談室の活用を図り、教育相談に関する情報を収集・発信。	○生徒アンケートでは担任・副担任の先生方の協力のおかげでスムーズに問題把握、面談などの対応を行うことができた。これからも職員間の情報共有と丁寧な対応に努めたい。 ○いじめ未然防止取組として、生徒会と連携しながら生徒が主体となり交流を深めるゲームや「いのちの教育」を実施し、「命」について学校全体で考え活動ができた。 ○いじめ子どもサミットにて、本校の取り組み発表を行った。また、神舞祭文化の部においても同様に発表し、全校生徒や保護者に対しても周知することができた。 ○一行詩「生命のこえ」コンテストでは、担任副担任のご協力のおかげで実施できた。コンクールに応募した作品の中から、4点が入選し、うち1点が優秀賞を受賞した。	A	A6 B1	□勉強も大事だが、学校生活を楽しむことの方が高千穂高校生にとって大切だと思います。

			OSC・SWが全校生徒に認識されるように情報発信をし、会議等にも参加してもらう。			
--	--	--	--	--	--	--

令和7年度 学校関係者評価表

宮崎県立高千穂高等学校

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

	評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果(○)・課題(●)・改善策 (☆)	自己 評価	評 価	学校関係者評価 コメント
3 生徒と地域の交流の質・量向上				B	A2 B5	□ボランティア活動への積極的な参加や、「西臼杵探究CAMP」への参加など、地域を学びのフィールドとする姿勢が定着しつつあると感じました。
3 生徒と地域の交流の質・量向上	教育活動の可視化(教務)	・公開授業の充実 ・オープンスクールの充実 ・行事の効果的な企画・運営	○昨年度より効率よく準備が進んだ。 ●中体連県大会出場予定生徒のニーズに対応が必要。☆来年度の実施日を要検討。 ●公開授業参加者は前年度と同じ数で、7名という少人数。文書による連絡のみではなく、有効的な広報が必要。	B	B7	PTA 総会の出席率の高さ(83.5%)は、家庭からの期待の表れと言えるでしょう。課題としては、ボランティア参加者の固定化や、公開授業への一般参加者の少なさが挙げられます。 SNS等を活用した「届く広報」を工夫し、学校の魅力を地域に対しより能動的に発信していくことを期待します。 □公開授業などを見学させていただきましたが、生徒の自主性などが見られ大変良かったです。 □公開授業については、地域の回覧板や、チラシなどで掲示、依頼しても良いのでは。保護者向けメールがあれば、申し込みをGoogleフォームなどのQRコードからできるようにしてはどうか。「〇年生の成長を見る会」や、「ICTを活用した最新の

						授業体験会」などのタイトルがあると興味を引くかもしれません。 □オープンスクールは、中学生に学校に来てもらい学校を知ってもらう貴重な機会と思います。開催のPRの工夫をお願いします。
3	ボランティア活動への積極的参加 地域との交流推進 (生徒指導) (1・2・3学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸活動に積極的に参加する。(1・2学年) ・地域の課題や解決方法について、横断的・総合的に考察する資質や能力を育成する。(1・2学年) ・地域から依頼のあったボランティア活動への積極的な参加を呼びかける(生徒指導)(1・2・3学年) ・部活動単位での地域の行事参加を推進する。(生徒指導) ・保護者や地域関係者と連携を取り、地域とのつながりを大切にした学校づくりを行う。また、生徒に地域の諸活動への参加を促す。(1・2・3学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のボランティア活動へ積極的に参加する生徒が多かった。(1学年) ○総探では地域の方々に協力をいただきインタビューを実施した。生徒の成長の機会となった。準備や連絡を丁寧にしていきたい。(1学年) ○探究活動や未来探究などにおいて、高千穂まちづくり公社や観光協会などの協力を得て活動し、成果を形にすることができそうである。(2学年) ○生徒指導部にてボランティア参加の証明書を作成し、生徒が記録し、自己肯定感を高められるよう工夫した。(生徒指導) ●小学生の見守り活動、ボランティア活動においては参加者が固定化し、減少している傾向にある。(生徒指導) ☆部活動や各種委員会などに呼びかけを行うなど、参加者を増加させる手立てを考えていく。(生徒指導) ○3年生は2学期に受験する生徒が多く、地域活動に参加しにくい状況の 	A 2学年 A	A6 B1	<ul style="list-style-type: none"> □高校生のボランティア活動の参加は地元の人が大変喜ばれます。今後も積極的な参加をお願いします。その際には地域の人と積極的に話していただきたいと思います。 □ボランティア活動の参加者が固定化されるのは自然なことだと思います。自主的に取り組むことに意義があります。 □ボランティア活動をしている様子などを知る機会をもっと作っていただきたい。 □地域の課題に真剣に取り組んでいる姿が見られました。 □学年ごとの段階的なアプローチは、自分事としてとらえられる効果的な取り組みです。農業遺産などの生きた教材を地域が受け皿として受け止め、専門性の高い講師や授業でもっと探究できると広がりがあるように感じます。今年の取り組みは、これからもブラッシュアップさせながら継続して頂きたい。

		中、進路決定者を中心に地域のイベントや神楽などに積極的に参加していた。(3学年)			
多様な進路実現へのサポート (進路指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事図鑑を作ろう」を計画し、生徒が地域の方とコミュニケーションを取る機会を設けるとともに、地域の人を通して仕事を知る機会とする。(1年) ・フィールドワークプログラムの実施。(1、2年) ・西臼杵郡内事業所ガイダンスの実施。(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○西臼杵探究CAMP(10月)に11名が参加。1泊2日のプログラムを通して、高千穂町の魅力を考える機会を得た。 ○価値創造フォーラム(11月)に1年生が参加。→他の学校の生徒と交流する機会を得た。△計画的な運用と、より有意義なものにするために生徒へ世界農業遺産について触れるなど事前学習を充実させる。 ○公開講座補助金利用者～APE えびの4名、ひなたグローバルキャンプ1名、看護相談会2名、国際大学リスニング3名、韓国交流1名、世界とつながる(留学)6名。 	A	A6 B1	
PTA関係行事への積極的な参加、保護者との交流 地域の人々と積極的に交流し、地域文化と郷土への愛着心を醸成する。(図書渉外)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来どおり、PTA・保護者との連携を図りながら、生徒にもPTA活動への協力を促す。(環境美化活動、文化祭、うずめセミナー他) ・在校生にも、同窓会(おがたま会)の意義を伝え、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA総会の出席率は、1次が71.8%、2次を含めると、83.5%と非常に高い。 ○美化活動等への生徒の参加が、昨年より増えている。 ●PTA総会出席者の中から、役員選出を行っているが、複数の保護者から不満も聞こえてくる。欠席者も含めた、選出方法を考えたい。 ●美化活動への職員の参加が少ない。保護 	B	A1 B6	<ul style="list-style-type: none"> □保護者の方の学校行事へ関心や参加者の多いことに驚きとともに敬意を表します。先生方との関係もより良いものなると思われます。先生方の熱意の表れだと思います □役員選出で事前にGoogleフォーム等で「立候補」や「活動可能な範囲」をアンケート調査するのはどうか。 教職員の多忙さから、美化活動を放課後の勤務時間内や、授業の一環として生徒と一

			者・生徒・職員が一丸となって学校運営するために、保護者任せではなく、年1回程度の職員の参加を是非ともお願いしたい。			緒に取り組むのはどうか。なんとなく全員参加ではなく、担当制、当番制にして負担の軽減化。
--	--	--	---	--	--	---

令和7年度 学校関係者評価表

宮崎県立高千穂高等学校

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果(○)・課題(●)・改善策(☆)	自己評価	評価	学校関係者評価 コメント
4 生徒の力を生かした学校魅力発信の促進			B	A2 B5	□公務員コースの役場合格実績(2名)や、中学生向けの出前授業での高い満足度(90.3%)など、具体的かつ魅力的な教育成果が出ていると感じました。
教育活動の可視化(教務)〔再掲〕	・公開授業を充実 ・オープンスクールの充実 ・行事の効果的な企画・運営〔再掲〕	○昨年度より効率よく準備が進んだ。 ●中体連県大会出場予定生徒のニーズに対応が必要。☆来年度の実施日を要検討。 ●公開授業参加者は前年度と同じ数で、7名という少人数。文書による連絡のみではなく、有効的な広報が必要。〔再掲〕	B	B7	また、しろやま支援学校との交流など、多様性を尊重する心の教育も着実に進んでいます。 一方で、環境美化(清掃やロッカーの整理)については、自己評価が「C」に留まっており、公共の場を整える意識の醸成が必要と感じました。
生徒会と連携した学校魅力発信(教務・生徒指導)	・学校説明会の充実(教務) ・全国募集に関わる業務(高2留学を含む)(教務) ・(教務) ・代議委員会、企画委員会を中心とした校内外への積極的な情報発信(生徒指導)	○学校説明会については、学年・学科と連携し実施できた。短時間を有効利用するために、教師側が伝える事項を事前に整理し、生徒の声もしっかり反映させることができた。業務フローも確立しつつある。(教務) ●広報に関わる業務担当につて整理が必要(教務)。 ○担当者会→運営委員会→全職員への	B	A1 B6	学力やスキルの向上だけでなく、日々の生活環境を整える「心の在り方」についても、全職員一丸となった指導を継続してください。 □SNSの発信も多く、学校の様子を知る機会が格段に増えました。これからも積極的な発信をお願いします □広報に智恵と工夫が必要だと感じます。 □気になる点は、高千穂高校が取り組んで

4 生徒の力を生かした学校魅力発信の促進			周知という手順で情報共有できている。(教務)			いる様々な事について、HP やチラシがあるとの事を知らないため、西臼杵地域の各行政を通じて、引き続き上手く伝えるというと思う。
	近隣中学校と連携した進路指導の充実(進路)	<ul style="list-style-type: none"> ・未来探究〔2年普通コース〕を充実させ進路意識の啓発を図る。 ・中学生を巻き込んだ上級学校出前講座と進路ガイダンス(職業体験)の実施。 ・合格体験発表会の実施 	<p>△次年度の未来探究コースは現状維持。</p> <p>○国際コースにて熊本大学「高千穂塾」での観光案内実施。</p> <p>○公務員コースでは大原簿記専門学校の協力を得ながら授業を進めた。2名が高千穂町役場に合格(1月現在)。</p> <p>○10月の上級学校出前授業では、その分野への興味が高まったという割合が高校生88.2%、中学生90.3%。</p>	B	A2 B5	<p>□西臼杵郡内近隣中学校との連携を更に密にさせていただき、高千穂高校にしかないようなカリキュラムに取り組み、学校の魅力を更に充実発信していただきたい。</p> <p>私たち地域住民も企業も、その責任を果たすため、更なる協力をさせていただきたいと思っておりますので、様々な場面で広く情報発信や協力要請をしていただければありがたいです。</p>
	読書活動に係る対外的なイベント、コンクール等への積極的な参加(図書渉外)	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科と協力してビブリオバトルを実施したい。 ・各種団体が実施するコンクール等を把握し、生徒への応募を促す。 	<p>△二学期、教育委員会主催のビブリオバトルに生徒1名が参加した。入賞はできなかったが、来年につながる内容であった。また、投票ボランティアにも図書委員を2名派遣し、ビブリオバトルを見ることのできる貴重な機会となった。来年度は、国語科と協力しながら校内でのビブリオバトルを実現したい。</p> <p>△読書感想文コンクールにおいて、県代表作品には選ばれなかったが、1年の部第3席に選ばれた生徒が出た。しかし、多くの生徒は読んだ本の感想を書くことが苦手である。ビブリオバトル同様、国語科と協力し、まずは本を</p>	B	B7	<p>□ビブリオバトルへの参加、校内での実施は、先にあった読書教育へもつながるよい取組と思います。ぜひ次年度の開催を。回数を重ねて、数年後は、地域の方の前で、地域の方にも参加してもらって、中学生も一緒に…など様々な企画で年間数回開催されるようになればと希望します</p>

		手に取ってもらい、その感想を自分の言葉で表現できる生徒が増えるような取り組みを検討したい。			
特別支援教育の推進 (教育相談)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般において配慮すべき点や教育的ニーズを把握し、不安や困難を改善、解消できる方向に向かわせる。 ・自立や就労を目指し、生徒の実態に応じた社会技能(ソーシャルスキル)を獲得させる。 ・通級に関する研修を深め、ニーズに合った支援体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会、教科担任会、教育相談情報共有会等で情報共有を図り対応することができた。 ○心のバリアフリー活動で、しろやま支援学校の生徒との交流活動を実施し神舞祭では合同展示活動で全校生徒での交流を深めることができた。 ○ネットワークセンター・外部関係との連携を図り、授業観察・ケース会議等を行い、学校・地域全体で検討することができた。 ○通級指導を T2 体制で実施し、協議しながら個に応じた指導を実施することができた。 ●通級が必要な生徒に対して、全職員で情報共有し検討していく必要がある。 	A	A6 B1	<input type="checkbox"/> これからも保護者とのよい関係を希望します
保護者との連携 (1・2年生)	・保護者との連携を大切にし、信頼関係を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ○各クラスで学級通信やクラスルームを活用して生徒の様子を保護者へ発信している。さらに保護者との信頼関係を深めたい。(1学年) ○通信や面談だけではなく、日々の誠実な対応などにより、保護者との良好な関係を築くことができた。(2学年) 	1学年 A 2学年 A	A7	

		○担任の先生方がそれぞれ学級通信やGoogleClassroomを通して、学校での生徒の様子や情報伝達を積極的に発信して下さった。(3学年)	3学年 A		
部活動の活性化 (生徒指導)	・部活動加入を呼びかけ、生活指導に力もいれる。(部活動加入率80%以上、加入者の出席率100%、上位大会5つの部活出場を目指す。	○九州大会以上の上位大会には剣道・水泳・相撲が出場。 ●加入率が80%に満たないため、今後も加入を促す。	B	A1 B6	<input type="checkbox"/> 部活動については、加入率を上げていただきたい。なぜ、いま部活動に加入しないのか率直な意見を聞く場を設けて欲しい。 <input type="checkbox"/> SNSの時代だけにコミュニケーションがとれる基礎を部活動で養ってほしい。野球部(の部員)が増えてほしい。 <input type="checkbox"/> 剣道部の成績が低迷しています。寮での生活全般の管理監督が充分に行われているかチェックが必要ではないでしょうか。特にスマートフォンの長時間利用は、アスリートにとって悪影響です。生活環境のチェックが必要だと思います <input type="checkbox"/> 先輩も学び、後輩も学ぶ校舎ですから、今の在学生在が次に引き継ぐ気持ちで、きれいな校舎にしていきたいです。
環境美化と整備の充実 (生徒指導)(1・2・3年生)	・生徒と職員が共に毎日の清掃にしっかり取り組む。 ・花の苗作りや管理を、生産流通科と連携して行う。 (生徒指導) ・学校における生活環境や学習環境の整備	●トイレトペーパーの使用状況が悪い。 (生徒指導) ●自分の机、ロッカーが整頓されていない生徒がまだいる。環境を整える意識を持たせたい。(1学年) ●時間いっぱい清掃ができていない。 (1学年)		B2 C5	<input type="checkbox"/> 小学生ではないが、配置の型(左は教科害、右に部活用品など)を決める。年間でこれだけのトイレトペーパー代がかかるという、具体的な数字を掲示すると、自分たちの学費や税金がどう使われているのかを知ることが出来る。

			<p>●ロッカーの整理ができていない生徒がいる。鍵付きロッカーの活用も含め、今後も指導していく。(2学年)</p> <p>△担任の先生方には何度も声かけして頂いたが、クラスによっては教室の整理整頓ができていなかった。また、一部の生徒のロッカーが何度注意しても整理されない。 (3学年)</p> <p>●未だに限定した場所のみを清掃するだけで、隅々まできれいにしようとしていない生徒がいる。3年間で自ら汚れている箇所を見つけて積極的に校内をきれいにする姿勢を育てきらなかった。 (3学年)</p>	C	<p>環境整備＝セルフマネジメントと定義を意識。という上記のことを思いっただけ書いてみました。</p> <p>□自ら進んで清掃や環境整備の意識づけができるとうい。社会に出たら学習よりも大事なことであったと知らせたいところです。</p> <p>□家庭でも清掃が出来ていないから、学校でも出来ないと思います。 社会人になって、身の回りを綺麗にできない人は損すると思うので、積極的に美化活動してもらいたい。</p>
--	--	--	---	---	--